

## みちづくりニュース

2023.4発行

新町・古町地区では、歴史的建造物と一体となった公民連携のまちづくりを推進しており、その取組のひとつとして明八橋前～唐人町通りの道路空間の整備を予定しています。この「唐人町通りみちづくりニュース」では、道路整備事業の進捗や、ワークショップの様子などを地域の皆さんにご報告していきます。

## 第4回 唐人町通りみちづくりワークショップを開催しました！

## 第4回ワークショップの開催概要

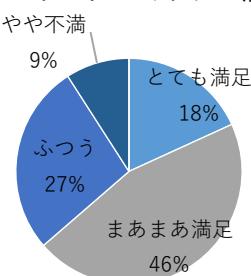
第4回目の唐人町通りみちづくりワークショップは現地での開催となりました。今回は「誰もが安全・快適に歩けるみちづくりを考えよう」をテーマに、視覚障がいのある方や車いす利用者の方の参加のもと、現地フィールド調査や車いすの疑似体験、道路舗装のサンプル確認等を行い、多様な利用者の視点から意見交換を行いました。

日 時：令和5年3月26日（日）14時～  
場 所：明八橋たもと（タイムズ西唐人町駐車場）  
参加人数：16名

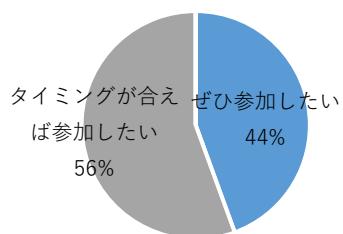


## 参加者の声（参加者アンケートより一部ご紹介）

## ■ワークショップの満足度



## ■次回への参加意欲



今後も、唐人町通りや通り沿いの土地を対象に、安全性や憩い・賑わい、回遊性に資する取組みを実践・検証する予定です。詳しい時期や内容については、回覧板や熊本市HP等でお知らせします。

熊本市の  
HPは  
こちら！



## 当日の流れ

## 1. みちづくりの方針の説明

事務局より唐人町通りのみちづくりの方針、サンプルの構造や舗装等についてご説明しました。また、熊本大学吉城先生を講師にお招きし、現状の自動車走行速度の調査結果とともに、安全性を高めるポイントを教えて頂きました。

## 2. 舗装サンプルの通行体験＆現地確認

視覚障がいの方、車椅子利用者の方、その他参加者全員による舗装サンプルの通行体験や現地との比較を行い、気づいた点を共有しました。

## 3. 気づきや考えの共有

これまでのワークショップで検討課題となっていた歩車道境界部の構造や舗装の仕上げ、色などについて、多様な視点から意見交換を行いました。

## 自由記述

- ・道の雰囲気が町に近くなつて良いと思う。
- ・段差や道の材質にまだまだ改善できることがありそう。
- ・貨物搬入やイベント時を考慮すると、ボラードは取り外しできるタイプがいいのでは？
- ・歩車道境界が視覚的に認知しづらい。
- ・唐人町通りはデイケアの送迎車が多い。
- ・歴まちとしてのデザイン性を考慮してほしい。
- など



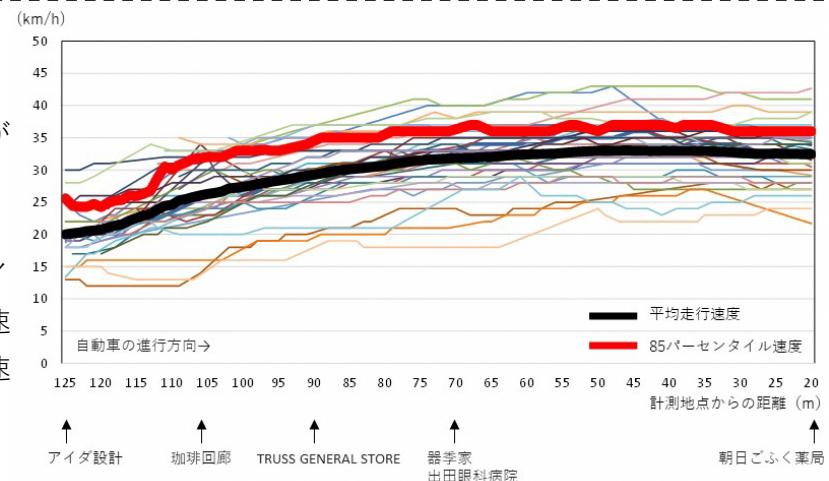
## 第4回ワークショップの結果まとめ

### 専門家から、現況の車両走行速度と安全性を高めるポイントを学びました！

前回のワークショップで、熊本大学吉城秀治先生（くまもと水循環・減災研究教育センター准教授）から、交通事故時の歩行者の生存率を大きく左右する車両速度のボーダーラインは時速30kmであると教えて頂きました。今回、実際に唐人町通りの車両走行速度はどのくらいなのか、吉城先生に調査の結果と考察をお話して頂きました。

#### 調査概要

- ・アイダ設計～朝日ごふく薬局の113m区間
- ・路上駐車や横断歩行者、自転車による影響が生じなかった普通車両41台



#### 調査結果

- ・道路における実勢速度を表す85パーセンタイル速度（通常で85%の車両が走行する速度）は時速35km程度であった。中には時速40km超の車両もみられた。

#### 考察

- ・唐人町通りでは、時速35kmと30kmではドライバーにとって通行時間は数秒の差しかないが、致命傷となる確率を下げることが可能。（時速40kmでは約40%が致命傷となる）唐人町通りで時速30kmを目指すことは、歩行者が万が一の際に助かる確率を大きく高めることになる。

### 多様な視点から、唐人町通りの安全・快適なみちづくりについて考えました！

今回は、熊本県視覚障がい者福祉協会から視覚障がいの方、NPOヒューマンネットワーク熊本から車椅子利用の方、その他様々な方にご参加頂き、多様な視点から、安全・快適な歩行空間のあり方や課題を共有しました。

会場には、計画案の歩行空間を部分的に用意し、この上をみなさんに通行体験してもらいました。水で濡らして雨天の滑りにくさを確認したり、白杖で舗装材の感触を比較したり、車いすの疑似体験を行ったりと、ご自身の体験や、他の方の体験の様子から、気付きや考えを共有しました。



意見交換のまとめ	段差(認識や通行など)	歩きやすさ(滑り、つまずきなど)	誘導ブロック	その他
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者と車いす利用者の安全・快適性の両立から、<u>最小限2cmの段差</u>をつける。</li> <li>・車いす利用者配慮して<u>段差の角を丸くする</u>など、乗降しやすい工夫を行う。</li> <li>・歩車道境界部に<u>色味の違う舗装や目印を入れる</u>、舗装表面の仕上げを分かりやすいように変えるなど、歩車道の違いが視覚的に分かる工夫を行う。</li> <li>・可能な箇所に<u>ボラードを設置</u>し、より安全性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況より歩きやすいとの意見が多く、特に課題は出されなかつたため、現状の案で進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唐人町通りとしては<u>茶色</u>を基本とし、詳細の色については検討を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に、歴史のことを考慮し、安全と景観の両立がとれたデザインとする。</li> </ul>